

# 釜石鵜住居復興スタジアム等個別施設 計画策定支援事業にかかる業務

—報告書—

2019年3月8日

# 目次

- I. プロジェクト概要ならびに確認
- II. 釜石鵜住居復興スタジアムに関する報告
- III. 釜石市内、他スポーツ施設に関する報告

# 1. プロジェクト概要ならびに確認

## 1. 本事業の背景の再確認

- ① 2018年8月19日オープンした釜石鵜住居復興スタジアムを中心に釜石市内スポーツ施設の状況把握を行いたい
- ② 民間ノウハウを含めた運営手法検討、施設の収益性・コストの検討を行いたい
- ③ 地域を巻き込んだエリアマネジメントの観点での検討を行いたい
- ④ RWC2019を一過性ではなく、そこから継続的に続く取り組みを検討したい
- ⑤ 地域におけるスポーツ文化継承、防災教育、福祉・健康づくり、交流・コミュニティ創造の拠点としてスポーツ施設を活用したい。

## 2. 本事業の調査対象施設

- ① 釜石鵜住居復興スタジアム（調査のメイン対象）
- ② その他の施設：
  - 釜石市民交流センター（体育館）
  - 釜石市勤労青少年ホーム
  - 釜石市営プール
  - 昭和園クラブハウス
  - 釜石市中妻体育館
  - 釜石市球技場
  - 釜石市民弓道場
  - 釜石市民相撲場
  - 釜石市営唐丹グラウンド
  - 平田公園

## 3. 大まかなタイムライン

- ~11月末：国内外スタジアム事例調査・スタジアム基礎状況確認
- ~12月末：上記調査継続・主要関係者へのインタビュー
- ~1月末：中間報告書の作成
- ~2月末：（上記に基づき）追加インタビュー・ディスカッション
- ~3月：最終報告書の提出

# 1. プロジェクト概要ならびに確認

## 4. 調査実施事項概要

- 釜石鵜住居復興スタジアム並びにその他の市内のスポーツ施設に関して、下記の3つのアプローチで、調査・分析を行った

### 基礎情報の把握

### インタビュー

### 他事例調査



#### 釜石市民

- 健康福祉・スポーツ参加に関する現状

#### 釜石鵜住居復興スタジアム

- 基礎インフラ
- スタジアム診断

#### スポーツ施設

- 基礎情報
- 運営状況
- 改修状況
- 利用者数の推移
- 利活用状況



#### 行政

- 市長・副市長
- 生涯学習文化スポーツ課

#### 地元関係者/指定管理者

- 協立管理工業
- 体育協会
- かまいしDMC
- 他

#### 地元住民

- スタジアム周辺住民
- 施設利用者



#### 視察・インタビュー

- 北海道札幌市：北海道バーバリアンズ
- 岩手県紫波町：オガール

#### 参考事例

- 静岡県藤枝市
- 新潟県十日町市
- 新潟県妙高市

# 1. プロジェクト概要ならびに確認

## インタビューの実施

- 2018年11月～2019年1月までの間に34名とのインタビューを実施
- 対象者は、①地元民間ステークホルダー、②行政、③地元住民、④エキスパート  
・参考事例の4カテゴリ

No	カテゴリ	組織	役職	氏名
1	釜石市・行政	釜石市	市長	野田武則
2		釜石市	副市長	山崎秀樹
3		釜石市生涯学習文化スポーツ課	課長	村上純幸
4		釜石市生涯学習文化スポーツ課	係長	中島佐和子
5	釜石市民間関係者	釜石シーウェイブス	GM兼監督	桜庭 吉彦
6		かまいしDMC	取締役事業部長	河東 英宜
7		釜石まちづくり株式会社	管理部 総務課長 兼 経理課長	下村 達志
8		釜石地方森林組合	参事	久保 知久
9		釜石地方森林組合	参事	高橋幸男
10		協立管理工業	専務	小笠原重子
11		協立管理工業	社長	小笠原拓生
12		協立管理工業	社員	佐々木研一
13		スクラム釜石		高橋博行
14		かまいしDMC		久保竜太
15		三陸ひとつなぎ自然学校	代表	伊藤 聡
16		三陸ひとつなぎ自然学校		柏木 未来
17		釜石国際病院	院長	土肥守
18		釜石国際病院	看護師長	佐々木研一/麻貴子
19	地元住民	新川原町内会	会長	古川幹敏
20		根浜町内会	会長	前川昭七
21		根浜親交会	事務局長	佐々木雄治
22		釜石ライフセービング協会	市議会議員	佐々木聡
23		岩手県トライアスロン協会	会長	三上雅彦
24	専門家	北海道ラグビー協会 北海道バーバリアンズRFC代表	会長代表	田尻稲雄
25		Bristol Sports	Managing Director	Mark Kelly
26		Bristol Sports	Head of Media and Communication	Tom Taninton
27		Ricoh Arena	Commercial Director	Stuart Cain
28		Gloucester Rugby	Head of Operation	Shaun Roberts
29		紫波町	企画総務部 企画課 企画主幹	鎌田 千市
30		株式会社寿広	専務取締役	藤原 護
31		笹川スポーツ財団		玉澤政徳
32		笹川スポーツ財団	主任研究員	藤原直幸
33		福岡ソフトバンクホークス	取締役	三笠杉彦
34		イービストレード株式会社	執行役員	石嶋 正幸
35		横浜DeNAベイスターズ	営業部グループリーダー	関根一途

# 目次

I. プロジェクト概要ならびに確認

II. 釜石鵜住居復興スタジアムに関する報告

III. 釜石市内、他スポーツ施設に関する報告

## 2.釜石鵜住居復興スタジアムに関する報告

### <報告内容>

#### (1) 調査概要

- 各種インタビュー
- 参考施設の現地調査
  - ・ アシュトンゲートスタジアム
  - ・ キングズホルムスタジアム
  - ・ オガール紫波
  - ・ 北海道バーバリアンズ グラウンド
- 基礎資料・文献を使った調査

#### (2) 基礎調査のまとめ

- スタジアムならびに周辺施設の基礎インフラ
- 周辺の開発状況について（鵜住居駅周辺・根浜周辺）
- 釜石鵜住居復興スタジアムについての基礎的な分析
- インタビューを通じた洞察
- 国内外の参考施設のフィールドワークを通じた洞察

#### (3) 釜石鵜住居復興スタジアム運営計画

## (1) 調査概要：参考施設の現地調査

### 参考施設の現地調査

#### ➤ アシュトンゲートスタジアム



#### スタジアム概要

- 竣工：1904年
- 収容人数：21,497人
- 場所：ブリストル(ロンドンから2時間)
- 芝：ハイブリッド (グラスマスター)
- ピッチサイズ：105 m × 69 m
- その他
  - Bristol (プレミアラグビー) とブリストル・シティFC (サッカー) の兼用
  - 2016年ころから老朽化もあり改修を実施 (€45 million /67.5 億円)

#### ➤ キングズホルムスタジアム



#### スタジアム概要

- 竣工：1891年
- 収容人数：16,115人 (ラグビー)、12,000人 (コンサート)
- 場所：グロスター (ロンドンから電車で2時間)
- 芝：ハイブリッド (Hero)
- その他
  - グロスターのホームグラウンド
  - トウィッケナム移転前のイングランド代表ホームスタジアム
  - 1991年、2015年RWCでも利用

## (1) 調査概要：参考施設の現地調査

### 参考施設の現地調査

#### ➤ オガール紫波

#### オガールプロジェクトとは

- 紫波町は、JR紫波中央駅前の町有地10.7haを中心とした都市整備を図るため、町民や民間企業の意見を伺い、平成21年3月に議会の議決を経て紫波町公民連携基本計画を策定しました。この基本計画に基づき、平成21年度から紫波中央駅前都市整備事業（オガールプロジェクト）が開始
- 主要施設: 紫波町庁舎、バレーボール用体育館、サッカーグラウンド、ホテル、産直、カフェ、広場等



## (1) 調査概要：参考施設の現地調査

### 参考施設の現地調査

- 北海道バーバリアンズグラウンド
- 特定NPO法人北海道バーバリアンズラグビー&スポーツクラブが管理するラグビーグラウンド
- 北海道定山溪に位置し、札幌市街地から車で20分程度の距離の所にある
- 社会人クラブチーム北海道バーバリアンズの練習グラウンドとして使用される
- 天然芝のグラウンドが2面ある。
- 土地自体は、もともとNTTの所有物だったものを11年前（2007年）に、4500万円で、特定非営利法人北海道バーバリアンズとして買い取り



## (1) 調査概要：参考施設の現地調査

### 参考施設の現地調査

- 茨城県立カシマサッカースタジアム
- 1993年のJリーグ発足同時から、ホームチーム鹿嶋アントラースが使用するスタジアム
- 収容人数40,728人、2002年FIFA ワールドカップの会場としても使用
- 人口が65000人のエリアにも関わらず、試合日には平均2万人近くが集まり、試合日以外には、無料ウォーキングイベントに18,000人、スタジアム内に併設するクリニック・ジムには、一日平均 2,000人が訪れ使用するなど地元住民に広く活用されている
- 地元住民向けの提供機能として、一日平均180人が診察を受ける診療所・クリニック（整形外科・リハビリテーション）を併設



## 2.釜石鵜住居復興スタジアムに関する報告

### <報告内容>

#### (1) 調査概要

- 各種インタビュー
- 参考施設の現地調査
  - ・ アシュトンゲートスタジアム
  - ・ キングズホルムスタジアム
  - ・ オガール紫波
  - ・ 北海道バーバリアンズ グラウンド
- 基礎資料・文献を使った調査

#### (2) 基礎調査のまとめ

- スタジアムならびに周辺施設の基礎インフラ
- 周辺の開発状況について（鵜住居駅周辺・根浜周辺）
- 釜石鵜住居復興スタジアムについての基礎的な分析
- インタビューを通じた洞察
- 国内外の参考施設のフィールドワークを通じた洞察

#### (3) 釜石鵜住居復興スタジアム運営計画

### (2) 基礎調査のまとめ：スタジアムならびに周辺施設の基礎インフラ

釜石鵜住居復興スタジアムの運営計画を策定するにあたって、大前提としてスタジアムそのものならびにその周辺施設に関する諸施設の基礎的なスペックを把握する必要がある。下記、本事業計画策定の大前提としての、調査対象スタジアムの基礎インフラについて確認を行う。



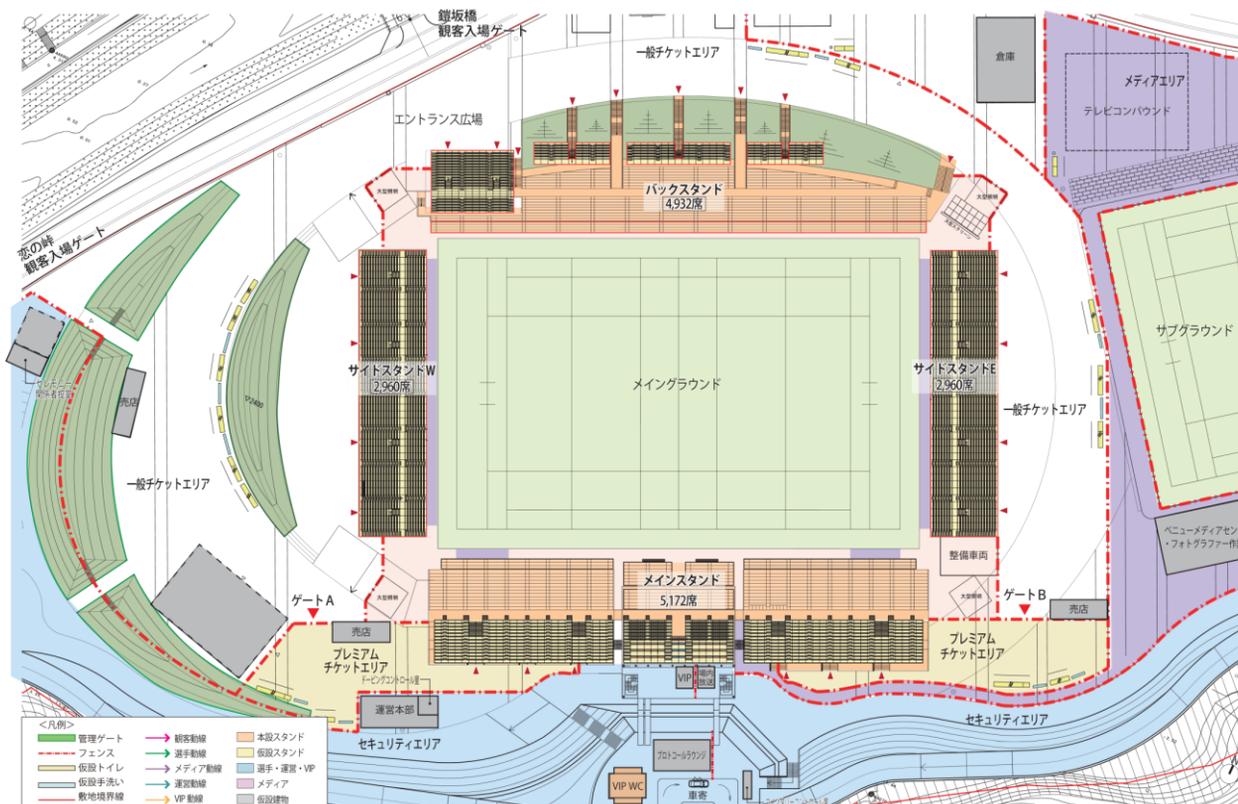
#### 整備施設

- 場所：岩手県釜石市鵜住居町第18、19地割地内
- 面積：約90,000㎡
- 整備内容：基盤整備、公園整備、グラウンド整備、スタジアム施設整備（スタンド、管理棟、やぐら棟）、仮設整備
- キャパシティー： 常設 6,000席

#### 整備日程

- 2018(平成30)年8月 メイングラウンド・常設6000席スタンド・管理棟整備、10月 やぐら棟整備。
- 2019(31)年7月 仮設整備（10000席スタンド、大型映像装置他）、10月～常設施設のみ維持。

## (2) 基礎調査のまとめ：スタジアムならびに周辺施設の基礎インフラ



### スタジアムデザインのコンセプト

- 羽ばたき、船出



### 整備方針

- 三陸被災地のスポーツ施設不足を解消し、県民が集い、スポーツを楽しむ
- 国際・国内スポーツ大会はじめ各種多様なイベント開催ができる。(音楽・芸術・国際交流等)
- 常設設備を利用し医療福祉目的の健康体力づくり施設として有効活用
- 震災の記憶と防災の知恵を伝える。
- ラグビーV7・RWCレガシー(遺産)を伝える。
- 釜石フィールドミュージアムを構成。(自然環境、歴史文化を野外活動として学習体験)

### RWC2019日本大会開催スケジュール

- 9月25日：フィジー vs. ウルグアイ
- 10月13日：ナミビア vs. カナダ

## (2) 基礎調査のまとめ：スタジアムならびに周辺施設の基礎 インフラ

スタジアムのハード面での特徴

特徴①： 自然と調和した景観



特徴②： 地元の森林資源をフル活用



特徴③： 世界水準のハイブリッド芝



特徴④： 災害への備え  
(耐震性貯水槽貯留槽)



## (2) 基礎調査のまとめ：スタジアムならびに周辺施設の基礎インフラ

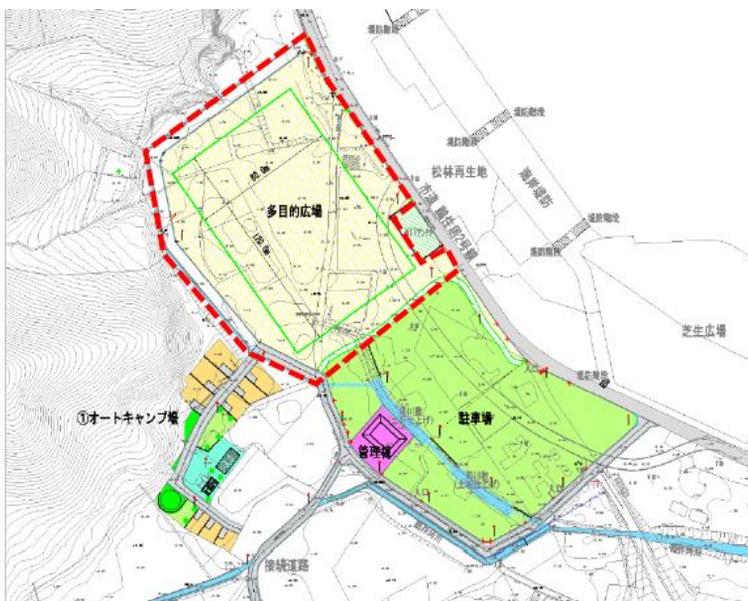
釜石鵜住居復興スタジアムの運営計画を策定するにあたって、スタジアムそのものではなく、スタジアムを取り囲む周辺環境の開発状況も含めて、エリアマネジメントの視点において、本スタジアムの運営を検討する必要がある。

本章においては、2019年3月に完成する①鵜住居駅周辺の開発状況とともに、②根浜地区におけるサブグラウンド・オートキャンプ場などの開発計画について確認を行う。



### ①鵜住居駅周辺

- 祈りのパーク
- 未来館
- 津波伝承施設
- 交流館
- 鵜住居駅と駅前ロータリー
- 生活応援センター
- 駐車場



### ②根浜地区：スポーツ・レクリエーション・交流拠点エリア

- レストハウス
- 駐車場
- 多目的広場
- オートキャンプ場
- 避難路